

第19回 あがたの森水無月コンサートが開催されました!

あがたの森

第三地区

令和5年7月1日現在	
総世帯数	1,955世帯
総人口	3,917人
男	1,876人
女	2,041人



清水小学校合唱部



清水中学校合唱部



清水小学校PTA親子コーラス



アンサンブルルミネ



あじさいの会



アルプス草笛会



大勢の方にお越しいただきました

6月11日(日)に、第三地区町内公民館長会主催の「第19回あがたの森水無月コンサート」が開催されました。コロナの影響により4年ぶりの開催となりましたが、雨天にも関わらず100名を超える来場者で大盛況となりました。手拍子をしたり、懐かしいメロディと一緒に口ずさんだりして、会場と一体になって楽しんでいく様子が印象的でした。「とても癒されました」「子供たちの歌声に元気をもらえました」「様々な年代の演奏を聴けて良かった」等、たくさんの方に満足いただけるコンサートとなりました。

来年は第20回の節目となります。素敵な演奏をぜひ聴きにきてくださいね。

食品・日用品・ガソリン・光熱費と値上げラッシュの中、価格の優等生と言われている卵について考えてみました。毎週イオンで開催されている火曜日。当初は1パック10個入りで98円でした。昨年後半から鳥インフルエンザ、円安、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で徐々に高騰、3月21日には218円と2倍以上になりました。それ以降は、高止まりで落ち着いていません。最近になって鳥インフルエンザも収束となり、値下げという方向になりそうです。安価で栄養がバランス良く摂れ、お弁当にも欠かす事の出来ない食材なので、とても嬉しいニュースでした。

出費が激増している現在ですが、賃金はそれに追いついて来れないのが現状。不安なのは、赤字国債が一千兆円に膨れ上がっている事で、借金まみれの我国の将来がどうなっていくのか、とても心配です。子や孫世代の未来が、少しでも豊かである事を切に願います。

(西原 政子)



松本県ケ丘高校
避難所運営委員会が開催されました!

6月1日(木) 松本県ケ丘高校で第1回避難所運営委員会が開催されました。松本県ケ丘高校が指定避難所となっている町会の代表者、市の危機管理課、第三地区地域づくりセンター職員らに加え、高校の先生方にも出席いただき、避難所が開設された際の役割分担の確認や、この会場で地区の防災訓練が実施できるか等を協議しました。

また、校内に設置されている防災倉庫の備蓄品の確認と、避難所となる体育館を見学し、広さやトイレの場所等の確認をしました。

その後の打合せの結果、10月22日(日)に松本県ケ丘高校を会場に地区の防災訓練を実施する予定です。



避難所運営委員会の様子



防災倉庫の確認



避難所となる体育館を見学



清水中学校1年生
まちあるき



餌差町 十王堂

僕は、6月1日に総合の学習で街巡りに行きました。街巡りをして、色々なことが分かりました。一番ビックリしたのは、近くに路面電車が通っていたこと。清水の信号機の近くに謎の空き地がありました。実はここ、路面電車「浅間線」の駅、清水駅跡だったのです。今はもうありませんが、あつたらちよつと乗ってみたかったです。そして、僕が今回街巡りにいって感じたことは、「松本市はとてもいい場所だなあ」ということです。松本には井戸が沢山あるし、古い町並みもあります。都会過ぎず田舎過ぎず、とても住みやすいです。だから、そんな松本がずっと続くといいと思います。(河田 充)

松本七夕人形で国際文化交流

清水中学校の美術部では、5月15日にスイスのグリンデルワルト村の中学生と「松本七夕人形」を作るといふ交流会をするため、3月末から部品作りの補助を行いました。講師として来てくださった第三地区公民館の方に松本七夕人形を見せていただきましたが、繊細に作り込まれており、複雑な作業には大変苦戦しました。



交流会当日は、あいさつや、それぞれの国、学校の紹介が行われ、美術部



が作った男雛(おびな)をプレゼントしました。クラスごとの交流会の方では、女雛(めびな)を作りました。大変な作業でしたが、できる限りの英語や、身振り手振りでコミュニケーションを取り、一緒に作ることができました。この体験で、松本の文化にふれ、多くの新たな発見や、自分達の住む松本の良さについて改めて知ることができました。この経験を日頃の生活にもいかしたいです。(高橋 実央)

